

第73回 九州経済同友会大会アピール

― 若者が輝く社会の構築と企業の役割 ―

九州は人口減少と人手不足の深刻化に直面し、企業は若者の採用が思うに任せない状況にある。その一方で、新卒採用者の早期離職は高卒・大卒ともに依然として高水準にある。少子化が進展するなか若者は地域の貴重な宝であり、企業はこれまで以上に、彼らが夢や誇りを持って働き、意欲的に挑戦できる環境を用意することで、企業の成長と九州の経済社会の発展につなげる必要がある。

このため、我々経済人は、自覚と責任をもって、以下の内容に取り組む。

① 企業理念やキャリアパスの情報発信の強化

企業は、自社の理念やビジョン、自社の社会課題への貢献等を、わかりやすく情報発信するとともに、就職希望者に対して入社後のキャリアパスを可視化する等により、雇用のミスマッチを最小限に抑えることを目指す。

特に高卒就職希望者は、就職活動に割く時間が限られ、社会経験が不足しているため、採用時に彼らの将来のキャリアパスについて丁寧に説明する。

② 挑戦と成長を支える仕組みの構築

企業は、若者に対して適度な負荷を伴う意欲的なタスクを与え、彼らの成長を後押しする。たとえ彼らが失敗してもそれを許容し、再挑戦を促す組織風土を醸成する。

加えて、研修や業界での交流、あるいは副業等を通じて、若者の人的ネットワーク形成を支援し、一流の人材との接点を増やすことで、志が高く視野の広い人材育成に努める。

③ 安心感と多様性のある職場づくり

若者が安心して働けるように、メンター制度等で彼らが気軽に相談できる環境を整えるとともに、性別・国籍・年齢等を問わず、多様な人材を尊重する組織づくりを徹底する。

特に留学生等の優秀な外国人材については、貴重な人材として位置づけ、通年採用の導入やキャリアに応じた処遇等により、彼らを積極的に採用する。

加えて、我々経済人は以下のような社会システムの構築を政府・自治体や教育機関等に要請するとともに、企業も積極的に関与することで、若者が輝く社会の構築を目指す。

④ 教育機関との連携による企業と学生との接点の拡充

大学等と九州の企業が連携し、長期インターンシップやプロジェクト学習等により企業と学生が協働で社会課題の解決に取り組む仕組みを構築し、企業で働くことの意義や社会課題と企業の関係について深く学ぶ機会を提供する。

⑤ 再チャレンジを応援する社会風土の醸成

若者の離職や転職を失敗と捉えず、キャリアアップの一環と肯定的に受け止め、再チャレンジを応援する社会へ転換する必要がある。このため、企業は高卒早期離職者を新卒同様に受け入れ、大学・高校は早期離職者が母校の就職窓口を気軽に訪れる環境を整える。そして政府・自治体は広報活動等を通じて社会が早期離職を許容する雰囲気醸成する必要がある。

全ての若者が夢や希望をもって就労できるように、政府・自治体は彼らに対するリスキリングや就労支援を充実させ、企業、教育機関は共に連携し彼らに活躍の場を提供する。

令和7年11月27日

九州経済同友会

代表委員 青柳 俊彦

代表委員 杉田 浩二

福岡経済同友会

佐賀経済同友会

長崎経済同友会

熊本経済同友会

大分経済同友会

宮崎経済同友会

鹿児島経済同友会

沖縄経済同友会